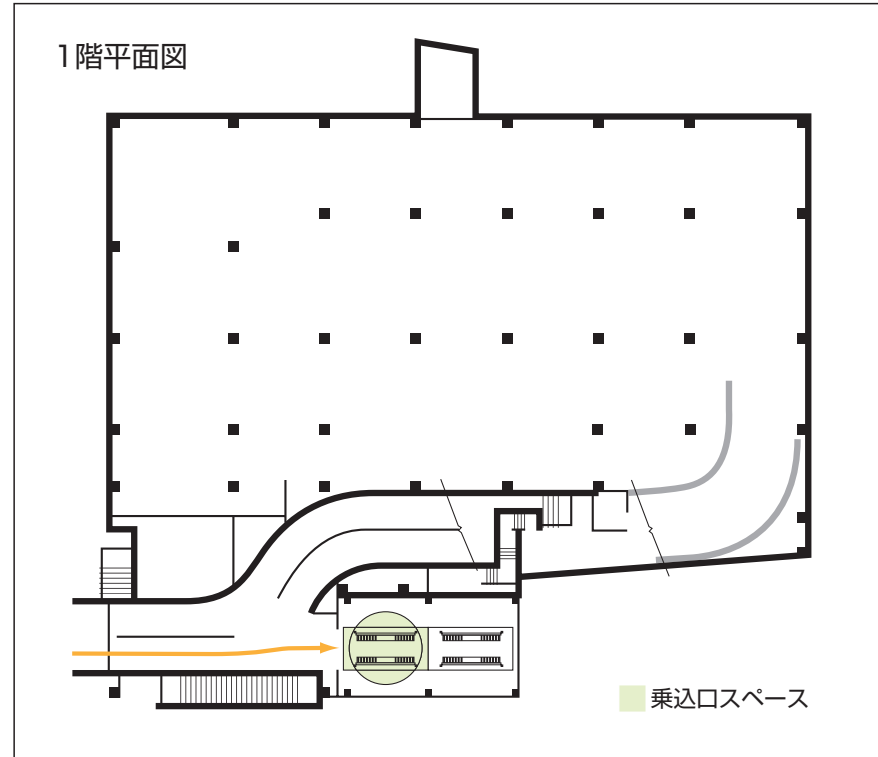




効率性、機能性を重視。防災設備も充実しています。また、舗装材など建築資材は、環境負荷に留意した、省資源・省エネルギー製品が使用されました。

自然豊かな多摩地区にあって、交通のアクセスにも恵まれ、魅力的な郊外都市としてさらに発展が期待される調布エリア。にぎやかで活気あふれる都市空間の創造に、調布サウスゲートビルが参画しています。

調布サウスゲートビルの駐車設備は建物に隣接したスペースに設けられました。駅前広場に面し、線路と調布グリーンホールに隣接する限られた敷地面積を生かすため、間口が狭く、奥行きのある立地に最適な、エレ

スピーディーな入出庫 E.L.パーキング

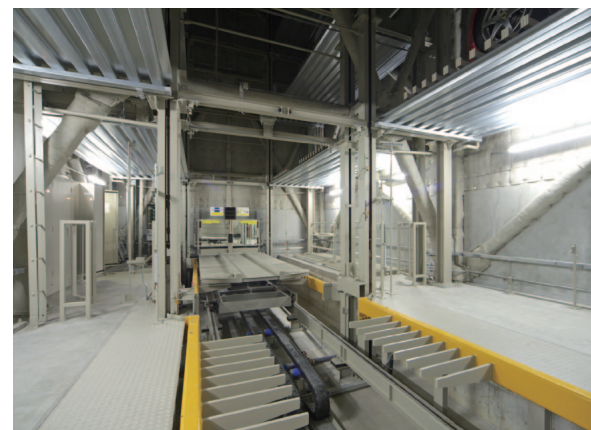
ベータ方式（フォーク式）E.L.パーキングの縦列タイプが導入されています。収容台数は六十八台（そのうち、二十台がハイルーフ車対応）。エレベータリフトにフォーク式を採用したこと、これまでにない入出庫スピードを実現しています。また、耐震性を向上させるため、上下左右の強い揺れに



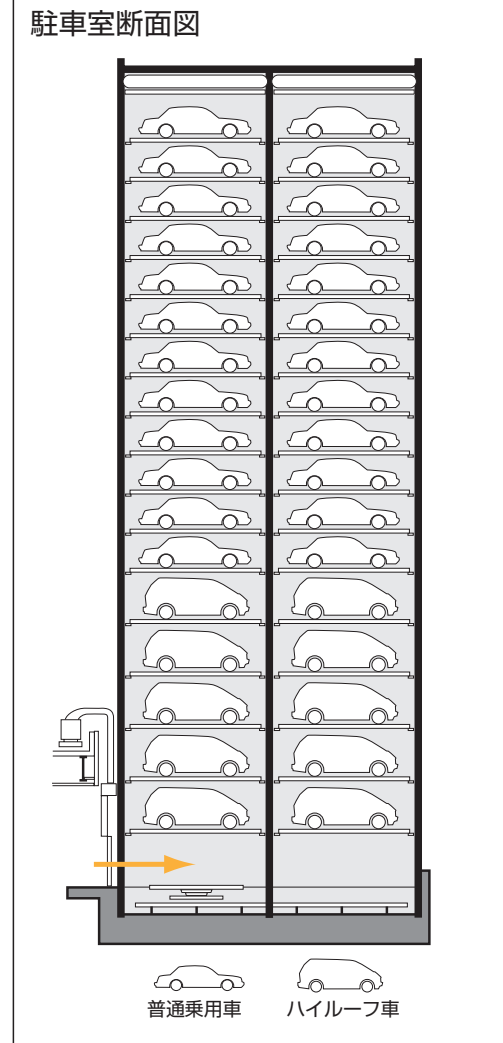
ハイルーフをはじめ、様々な車種の収容が可能。

も、台車を落下させないための工夫が施されています。

新しい街の顔に、新しい日精の技術が生かされています。



奥行きのある狭いスペースに最適な縦列タイプ



調布サウスゲートビル

変貌をとげる中心街のビジネス拠点

東京都調布市は、新宿副都心から西へ十五キロメートル、京王線の特急で新宿駅から十五分という多摩地域の玄関口です。

調布サウスゲートビルは、マインズ農業協同組合、京王電鉄（株）が中心に再開発が進められている調布市の中心街、調布駅の南口駅前にこのほど竣工したオフィス・商業施設の複合ビルです。調布駅は京王線から相模原線が分岐する重要拠点で、南口にはバスロータリーを中心に、「調布市グリーンホール」や「調布文化会館たづくり」「調布市役所」など公共機関が集積しています。

二〇一三年に完成が予定されている京王線連続立体交差事業により、これまで線路で分断されていた南口と北口がつながり、駅前広場が大きくリニューアルされることになりました。調布市では、「中心市街地づくり総合計画」を定め、調布駅を中心とした拠点ゾーンを設定。ビジネスや商業施設の拡充を図っています。

調布サウスゲートビルは、変貌をとげる中心街のメインキャストとして、他施設に先駆けて建設されました。

地下一階・地上十一階建て。一階にはJAバンク、コンビニ、コスメティックストア、旅行会社、二階にはクリニックなどがテナントとして入居し、三階から十一階まではオフィスフロアとして保険会社の支店が入居しています。

駅前広場の最前列に位置しているため、設計デザインには、周辺建物群との調和とともに、調布駅サウスゲート（南口）の顔としてふさわしい外観が求められました。

ファサードは、垂直方向を強調したアルミカーテンウォールとし、町並みがそのまま連続して伸びていくイメージと、軽快で洗練された質感を表現。正面性を持たせながら、ボリューム感を押さえることによって圧迫感を軽減し、明るく透明感のある、それでいてシンメトリーな安定感を備えたデザインとなっています。フロアデザインは、複合ビルとしての



建物に隣接した限られたスペースを活かして設置されたE.L.パーキング



調布サウスゲートビル外観

【建築概要・規模】

【建築主】 調布駅南第1地区市街地再開発組合
（マインズ農業協同組合、京王電鉄（株）、清水建設（株））
【敷地面積】 3,400.82㎡
【建築面積】 2,283.5㎡
【構造規模】 地下1階、地上11階
【設計・監理】 株式会社タカハ都市科学研究所

【駐車設備概要】

機 種 / E.L.パーキング
「エレベータ方式（フォーク式）縦列型」
型 式 / DEL・ULST-68MX(24/10R+24/10R)
収容台数 / 合計68台（ハイルーフ車20台）